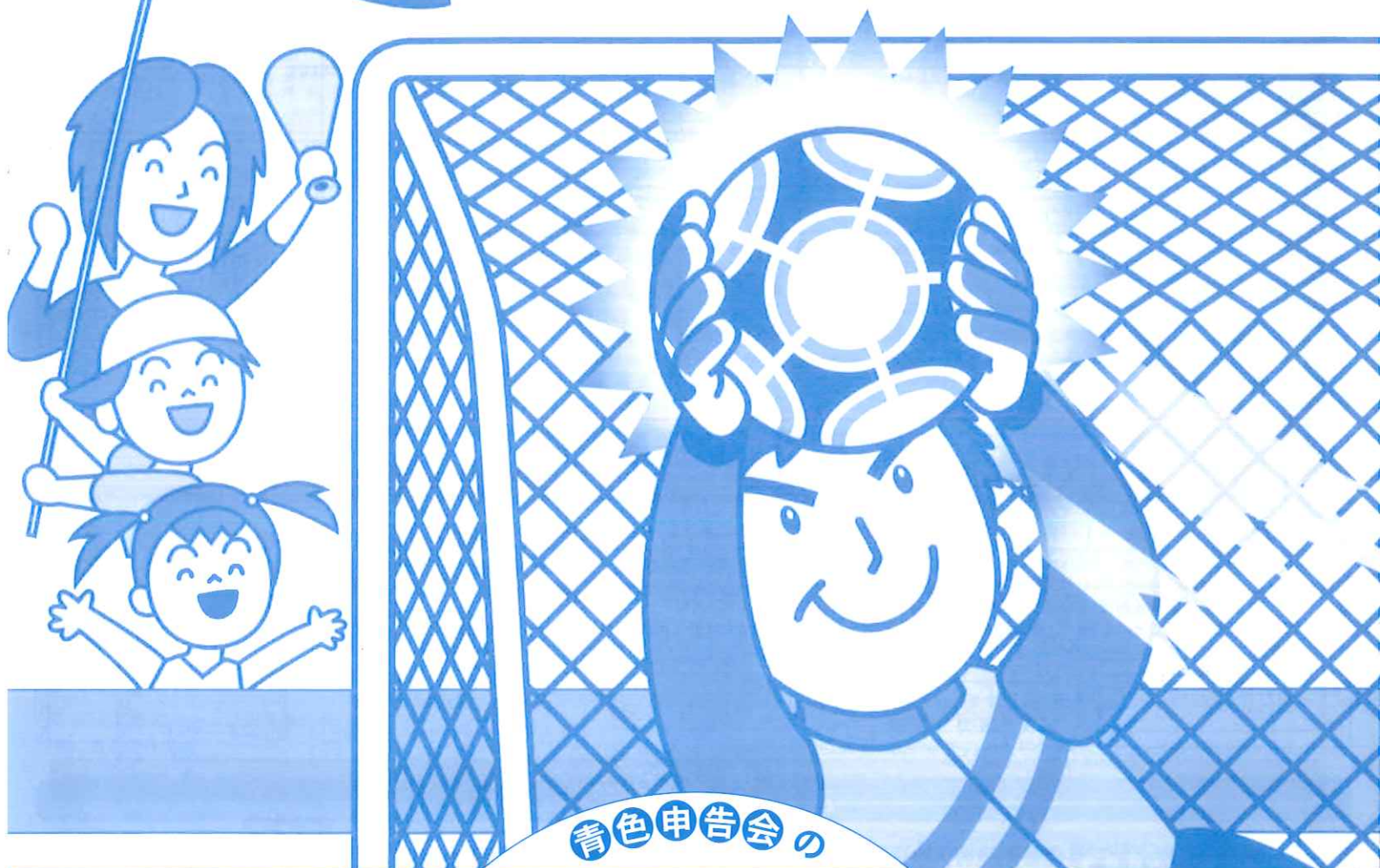




家族の笑顔を、
がっちりガード。

Blue
Return



青色申告会の

ファミリー交通傷害制度 交通事故傷害制度

団体総合生活補償保険(MS&AD型)【交通事故危険のみ補償特約付】

- 保険期間：2024年10月20日 午後4時より 2025年10月20日 午後4時まで
- 申込締切日：2024年10月18日(金) 午前中

お申込みご相談は【代理店・扱者】

一般社団法人 戸塚青色申告会
横浜市戸塚区上倉田町449-2-106号室
☎ 881-8558

締切日直前は事務局が混み合いますので、お申し込み
はお早めに。詳しい内容はパンフレットをご覧ください。

全青色

一般社団法人 全国青色申告会総連合

青色申告会ファミリー交通傷害制度加入申込票

(団体総合生活補償保険
(MS&AD型))※印の項目は、ご契約に際して引受保険会社がおたずねする特に重要な事項(告知事項)です。
事実と相違する場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがありますので十分に確認のうえご回答(記入)ください。

000	AAA	020	994
R393	03	88	LF
354④			

申込人(事業主)

ご補償加入内容

郵便番号012	〒	111	0000	0000	0000	電話011	()	加入者番号098	00000000	
(フリガナ)	317								保険期間	令和 年 月 日 午後 4 時から 令和 7 年 10 月 20 日 午後 4 時まで
住所									加入申込日	010
(フリガナ)	307									令和 R 年 月 日
氏名	341	募集パンフレット「重要事項のご説明」にご加入内容確認事項等を確認し、これらを青面もしくは電子データなど団体が決める方法で受領すること、および個人情報の取扱いに同意のうえ、加入を申し込みます。								

セットの種類	符号	ご加入者(被保険者本人)氏名	★団体との関係	生年月日	年令	性別	加入口数	④※他の保険契約等がありますか? (注)他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。
ファミリー交通傷害制度(家族ぐるみセット)	J04	本人氏名(本人が申込人と異なる場合のみ記入) カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 (注)本人のみ記入 万円 円 円
交通傷害制度(個人セット)	J04	ご加入者(被保険者本人)氏名	★団体との関係	生年月日	年令	性別	加入口数	④※他の保険契約等がありますか? (注)他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。
①	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
②	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
③	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
④	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
⑤	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円

★団体との関係欄には下の数字(いずれか1つ)をご記入ください。

団体の1: 構成員(申込人本人) 「1」の2: 配偶者 3: 子ども 4: 両親 5: 兄弟姉妹 6: 同居の親族 7: 家事使用人

ご注意: 1. 年令は、保険始期日現在でご記入ください。(保険期間の途中で加入される場合も、中途加入日現在でなく、

団体契約の保険始期日(令和6年10月20日時点)の年令をご記入ください。)

2. 「④他の保険契約等・⑥保険金請求歴」については、「あり」の場合必ずご記入ください。ご記入のない場合は、「なし」と回答したことになります。記入欄が不足する場合には、代理店・扱者または引受保険会社にお申し出ください。

⑦ 保険金請求歴 (注)他の保険会社等への保険金請求を含みます。
過去3年以内にナガで保険金(合計して5万円以上)を請求または受領したことがありますか。

被保険者氏名	会社名	回数	合計金額
		回	円
		回	円
		回	円
		回	円

DC240513 2024.06/AHJ61

キリトリ線

お申込方法

○記載例

青色申告会ファミリー交通傷害制度加入申込票

※印の項目は、ご契約に際して引受保険会社がおたずねする特に重要な事項(告知事項)です。
事実と相違する場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがありますので十分に確認のうえご回答(記入)ください。

000	AAA	020	994
R393	03	88	LF
354④			

郵便番号012	〒	111	0000	0000	0000	電話011	03 (3294) 12301	加入者番号098	00000000	
(フリガナ)	317	トウキョウト チヨダクカンダスルガダイ2-9							保険期間	令和 6 年 10 月 20 日 午後 4 時から 令和 7 年 10 月 20 日 午後 4 時まで
住所	東京都千代田区神田駿河台2-9								加入申込日	010
(フリガナ)	307	アオイロ タロウ								令和 R 6 年 10 月 3 日
氏名	341	青色太郎								

セットの種類	符号	ご加入者(被保険者本人)氏名	★団体との関係	生年月日	年令	性別	加入口数	④※他の保険契約等がありますか? (注)他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。
ファミリー交通傷害制度(家族ぐるみセット)	J04	本人氏名(本人が申込人と異なる場合のみ記入) カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	300① 572	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 (注)本人のみ記入 万円 円 円
交通傷害制度(個人セット)	J04	ご加入者(被保険者本人)氏名	★団体との関係	生年月日	年令	性別	加入口数	④※他の保険契約等がありますか? (注)他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。
①	アオイロ タロウ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	44才	男① 女②	3	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
②	アオイロ ハナコ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	43才	男① 女②	2	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
③	アオイロ イチロウ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	21才	男① 女②	1	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
④	アオイロ ジロウ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	16才	男① 女②	1	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円
⑤	カタカナで記入	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	満才	男① 女②	口	傷害死亡・後遺障害 傷害入院保険金 傷害通院保険金 保険金額 日額合計 日額合計 万円 円 円

★団体との関係欄には下の数字(いずれか1つ)をご記入ください。

団体の1: 構成員(申込人本人) 「1」の2: 配偶者 3: 子ども 4: 両親 5: 兄弟姉妹 6: 同居の親族 7: 家事使用人

ご注意: 1. 年令は、保険始期日現在でご記入ください。(保険期間の途中で加入される場合も、中途加入日現在でなく、

団体契約の保険始期日(令和6年10月20日時点)の年令をご記入ください。)

2. 「④他の保険契約等・⑥保険金請求歴」については、「あり」の場合必ずご記入ください。ご記入のない場合は、「なし」と回答したことになります。記入欄が不足する場合には、代理店・扱者または引受保険会社にお申し出ください。

R50	合計保険料(1回分)	いずれかに○をつけてください。	受付日
円	(加入) (変更) (脱退)	令和 年 月 日	

⑦ 保険金請求歴 (注)他の保険会社等への保険金請求を含みます。
過去3年以内にナガで保険金(合計して5万円以上)を請求または受領したことがありますか。

被保険者氏名	会社名	回数	合計金額
なし		回	円
		回	円
		回	円
		回	円

DC240513 2024.06/AHJ61

ご注意

●被保険者(補償の対象者)には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。

●告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「※」印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

●被保険者(補償の対象者)が次に該当する場合は「④・⑥」欄にその内容を必ずご記入ください。

④ 同種の危険を補償する他の保険契約等(団体総合生活補償保険、普通傷害保険等)をいい、いずれも積立保険を含みます。がある場合

⑥ 同種の危険を補償する他の保険契約等で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合

●ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
(令和6年12月中頃以降にお届けする予定です。)

【引受保険会社】三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 電話 03-3259-6692



青色申告会の団体保険は、保険料に団体割引等 **15%割引** が適用されています。 交通事故は、発生が予測できません。 ご家族全員に安心の補償を!!

○お申込人となれる方は全国の青色申告会の会員に限ります。

【ご加入できる方】

○ファミリー交通傷害制度で被保険者(補償の対象者)本人(*)となれる方の範囲は、青色申告会の会員、専従者(注1)、従業員(注2)およびその配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹です。

○交通事故傷害制度で被保険者(補償の対象者)本人(*)となれる方の範囲は、青色申告会の会員、専従者(注1)、従業員(注2)およびその家族(配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹および本人と同居している親族ならびに家事使用人をいいます。)です。

(注1) 専従者とは青色申告会会員(青色申告者)と生計を一にする2023年12月31日現在で15才以上の配偶者、その他の親族で、1年のうち6ヵ月を超える期間事業にもっぱら従事している方をいいます。

(注2) 従業員とは会員が個人事業主の場合、個人事業主の開業届出書にある「給与等の支払の状況」の区分を基に使用人と読み替えます。

(*) 加入申込票の加入者氏名欄に記載の方をいいます。

【保険料の払込方法】 所属の各青色申告会の窓口にお支払いください。(一時払)

【加入申込票の提出先】 所属の各青色申告会の窓口にご提出ください。

ファミリー交通傷害制度 家族ぐるみセット

年間の保険料
1口**10,000円**で
ご家族も一緒に補償!

1口あたりの保険料と保険金額

※4口(本人が15歳未満の方は3口)まで
ご加入いただけます。

被保険者	本人	配偶者	その他親族(1人あたり)*3
ケガをして死亡したり 後遺障害を被ったとき*1 (傷害死亡・後遺障害保険金額)	447万円	100万円	100万円
ケガをして入院したとき*2 (傷害入院保険金日額)	5,000円 (1日あたり)	4,000円 (1日あたり)	3,500円 (1日あたり)
ケガをして通院したとき (傷害通院保険金日額)	2,000円 (1日あたり)	2,000円 (1日あたり)	1,500円 (1日あたり)

*1 傷害後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて傷害死亡・後遺障害保険金額の4%~100%をお支払いします。

*2 傷害手術保険金は、入院中に受けた手術の場合は傷害入院保険金日額の10倍、それ以外の手術の場合は、傷害入院保険金日額の5倍の金額をお支払いします。

*3 本人またはその配偶者と同居の親族(本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族)、別居の未婚の子をいいます。

交通事故傷害制度 個人セット

年間の保険料
1口**1,000円**で
記名された被保険者を補償!

1口あたりの保険料と保険金額

※21口まで(15才未満の方は12口)ご加入いただけます。
2口以上の保険料と保険金額は(2口以上の適用/
保険金額・保険料)をご覧ください。

被保険者	記名個人
ケガをして死亡したり 後遺障害を被ったとき*1 (傷害死亡・後遺障害保険金額)	35万円
ケガをして入院したとき*2 (傷害入院保険金日額)	700円 (1日あたり)
ケガをして通院したとき (傷害通院保険金日額)	560円 (1日あたり)

〈2口以上の適用／保険金額・保険料〉

	2口	3口	4口	5口	6口	7口	8口	9口	10口	11口
ケガをして死亡したり後遺障害を被ったとき*1	70万円	108万円	144万円	178万円	213万円	248万円	285万円	323万円	357万円	391万円
ケガをして入院したとき*2	1,400円	2,100円	2,800円	3,500円	4,200円	4,900円	5,600円	6,300円	7,000円	7,700円
ケガをして通院したとき	1,120円	1,680円	2,240円	2,800円	3,360円	3,920円	4,480円	5,040円	5,600円	6,160円
年払保険料	2,000円	3,000円	4,000円	5,000円	6,000円	7,000円	8,000円	9,000円	10,000円	11,000円

	12口	13口	14口	15口	16口	17口	18口	19口	20口	21口
ケガをして死亡したり後遺障害を被ったとき*1	428万円	465万円	499万円	533万円	570万円	605万円	644万円	679万円	713万円	749万円
ケガをして入院したとき*2	8,400円	9,100円	9,800円	10,500円	11,200円	11,900円	12,600円	13,300円	14,000円	14,700円
ケガをして通院したとき	6,720円	7,280円	7,840円	8,400円	8,960円	9,520円	10,080円	10,640円	11,200円	11,760円
年払保険料	12,000円	13,000円	14,000円	15,000円	16,000円	17,000円	18,000円	19,000円	20,000円	21,000円

*1 傷害後遺障害保険金は、後遺障害の程度に応じて傷害死亡・後遺障害保険金額の4%~100%をお支払いします。

*2 傷害手術保険金は、入院中に受けた手術の場合は傷害入院保険金日額の10倍、それ以外の手術の場合は、傷害入院保険金日額の5倍の金額をお支払いします。

●すでに他の傷害保険等にご加入の場合には、他の保険契約等および上記セットとの通算保険金額で、傷害死亡・後遺障害保険金額2億円、傷害入院保険金日額30,000円、傷害通院保険金日額20,000円が加入限度となります(15才未満は傷害死亡・後遺障害保険金5,000万円、傷害入院保険金日額15,000円、傷害通院保険金日額10,000円が加入限度です。)

こんなとき、保険金をお支払いします。

日本国内ではもちろん、海外でもこんな事故にあわれケガをしたとき、
保険金をお支払いいたします。(詳細は、P4、5をご参照ください。)

傷害保険金 <ファミリー交通傷害制度、交通事故傷害制度共通お支払例>

■自転車に乗っていて、
自動車と接触してケガ
をしたとき



■バイクに乗っていて
カーブで転倒し、
ケガをしたとき



■道路を歩行中、
自動車にはねられ
ケガをしたとき



昨年度のご加入者数、支払件数

2023年度ご加入者

家族ぐるみセット

253家族!

個人セット

2,161名!

●2023年度ご加入者数

①家族ぐるみセット	253家族
②個人セット	2,161名

●2023年度保険金支払件数

①死亡	0件
②後遺障害	0件
③入院・通院	7件

毎日どこかで悲劇を巻き起こしている交通事故。あなた自身
はもとより大切な家族や従業員のために、団体保険をご検討
ください。

万一、事故にあわれたら、スグ、所属の青色申告会へご連絡ください。

<保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡>

- 保険金をお支払いする場合に該当したときは、代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手続につきまして詳しくご案内いたします。なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

<保険金支払いの履行期>

- 引受保険会社は、保険金請求に必要な書類(*)をご提出いただく日からその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認(*)を終えて保険金をお支払いします。(*3)
 - (*)1 保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。代理請求人が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただきます。
 - (*)2 保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の額の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。
 - (*)3 必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。

<保険金のご請求時にご提出いただく書類>

- 被保険者または保険金を受け取るべき方(これらの方の代理人を含みます。)が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社が求める書類をご提出いただきます。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

[ご提出いただく書類]

以下の書類のうち引受保険会社が求めるもの

- ・引受保険会社所定の保険金請求書
- ・引受保険会社所定の同意書
- ・事故原因・損害状況に関する資料
- ・被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料(住民票、健康保険証(写) 等)
- ・引受保険会社所定の診断書
- ・診療状況申告書
- ・公の機関(やむを得ない場合は第三者)等の事故証明書
- ・死亡診断書
- ・他から支払われる保険金・給付金等の額を確認する書類

事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。

<代理請求人について>

- 高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がいない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者(*)等(以下「代理請求人」といいます。詳細は(注)をご参照ください。)が保険金を請求できることがあります。詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。また、本内容については、代理請求人となられる方にも必ずご説明ください。

(注) ①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者(*)」

②上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合

「被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族」

③上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合

「上記①以外の配偶者(*)」または「上記②以外の3親等内の親族」

(*) 法律上の配偶者に限ります。

ご加入内容確認事項

ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。

お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、ご所属の青色申告会を通して、パンフレット記載の代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。

1. 保険商品が以下の点で **お客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明で確認ください**。万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご確認ください。

保険金のお支払事由（主契約、セットしている特約を含みます。）／保険金額（ご契約金額）／保険期間（保険のご契約期間）／保険料・保険料払込方法

2. 加入申込票への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払い等に必要項目です。

内容をよくご確認ください。加入申込票に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。

記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。

① 皆さまがご確認ください。

・ 加入申込票の「生年月日」または「年令」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？

「年令」欄は保険始期日時点での満年令をご記入ください。

＊ご記入いただいた年令と生年月日から算出した年令が異なる場合には、生年月日から算出したものを年令として取扱うことがあります。

または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認ください。

・ 加入申込票の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか？

＊ご加入いただく保険商品の加入申込票によっては、上記の欄がない場合があります。上記のうち欄がないものについてのご確認は不要となります。

② 以下に該当する内容をお申込みの方のみご確認ください。

◆「複数の方を保険の対象にするタイプをお申込みの場合のみ」ご確認ください。被保険者（補償の対象となる方）の範囲はご希望通りとなっていますか？

個人情報の取扱いについて

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社およびMS&ADインシュアランス グループのそれぞれの会社（海外にあるものを含む）が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。ただし、保健医療等のセンシティブ情報（要配慮個人情報を含む）の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含む）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等（いずれも海外にあるものを含む）に提供することがあります。詳細は、三井住友海上ホームページ（<https://www.ms-ins.com>）をご覧ください。

■お支払いする保険金の種類・内容

※印を付した用語については、次ページの「※印の用語のご説明」をご覧ください。（各欄の初出時のみ※印を付しています。）

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額
	国内	国外		
傷害死亡保険金 ★傷害補償 (MS&AD型)特約 ☆交通事故危険のみ補償特約セット	○	○	保険期間中の交通事故※によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合	傷害死亡・後遺障害保険金額の全額 (注1) 傷害死亡保険金受取人（定めなかった場合は被保険者の法定相続人）にお支払いします。 (注2) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。
傷害後遺障害保険金 ★傷害補償 (MS&AD型)特約 ☆交通事故危険のみ補償特約セット	○	○	保険期間中の交通事故※によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害※が発生した場合	傷害死亡・後遺障害保険金額×[約款所定の保険金支払割合（4%～100%）] (注1) 政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注2) 被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療※を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師※の診断に基づき後遺障害の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注3) 同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4) 既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした傷害後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。
傷害入院保険金 ★傷害補償 (MS&AD型)特約 ☆交通事故危険のみ補償特約セット	○	○	保険期間中の交通事故※によるケガ※のため、入院※された場合（以下、この状態を「傷害入院」といいます。）	傷害入院保険金日額×[傷害入院の日数] (注1) 傷害入院の日数には以下の日数を含みません。 ・事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間※（1,095日）が満了した日の翌日以降の傷害入院の日数 ・1事故に基づく傷害入院について、傷害入院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数※（180日）に到達した日の翌日以降の傷害入院の日数 (注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、傷害入院保険金を重ねてお支払いしません。
傷害手術保険金 ★傷害補償 (MS&AD型)特約 ☆交通事故危険のみ補償特約セット	○	○	保険期間中の交通事故※によるケガ※の治療※のため、傷害入院保険金の支払対象期間※（1,095日）中に手術※を受けられた場合	1回の手術※について、次の額をお支払いします。 ① 入院※中に受けた手術の場合…[傷害入院保険金日額]×[10] ② ①以外の手術の場合…[傷害入院保険金日額]×[5] (注) 次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。 ① 同一の日に複数回の手術を受けた場合… 傷害手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。 ② 1回の手術を2日以上わたって受けた場合…その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。 ③ 医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合… その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。 ④ 医科診療報酬点数表において、一連の治療※過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合… その手術に対して傷害手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。
傷害通院保険金 ★傷害補償 (MS&AD型)特約 ☆交通事故危険のみ補償特約セット	○	○	保険期間中の交通事故※によるケガ※のため、通院※された場合（以下、この状態を「傷害通院」といいます。） (注) 通院されない場合で、骨折、脱臼、靱（じん）帯損傷等のケガを被った所定の部位※を固定するために医師※の指示によりギプス等※を常時装着したときは、その日数について傷害通院したものみなします。	傷害通院保険金日額×[傷害通院の日数] (注1) 傷害通院の日数には以下の日数を含みません。 ・事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間※（180日）が満了した日の翌日以降の傷害通院の日数 ・1事故に基づく傷害通院について、傷害通院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数※（90日）に到達した日の翌日以降の傷害通院の日数 (注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中に傷害通院された場合は、傷害通院保険金をお支払いしません。 (注3) 傷害通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、傷害通院保険金を重ねてお支払いしません。

■保険金をお支払いしない主な場合

※印を付した用語については、下記の「※印の用語のご説明」をご覧ください。
(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

保険金の種類	保険金をお支払いしない主な場合
傷害保険金 (傷害死亡保険金、 傷害後遺障害保険金、 傷害入院保険金、 傷害手術保険金、 傷害通院保険金) ★傷害補償(MS&AD 型)特約 ☆交通事故危険のみ 補償特約セット	●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用している運転中のケガ ●脳疾患、病氣※または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●戦争、その他の変乱※、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ●原因がいかるときでも、頸(けい)部症候群※、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※ ●入浴中の溺水※(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。) ●原因がいかるときでも、誤嚥(えん)※によって発生した肺炎※ ●交通乗用具※を用いて競技等※をしている間のケガ ●職務として交通乗用具への荷物、貨物等の積み込み作業、積卸し作業または交通乗用具上での整理作業中のケガ、および交通乗用具の修理、点検、整備または清掃作業中のケガ ●職務または実習のための船舶搭乗中のケガ ●グライダー、飛行船、超軽量動力機、ジャイロプレーンに搭乗中のケガ ●航空運送事業者が路線を定めて運行する航空機以外の航空機を操縦している間またはその航空機に職務として搭乗している間のケガ など (注)細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。

【特約の説明】

セットする特約	特約の説明
条件付戦争危険等 免責に関する一部 修正特約(自動セット)	保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱※、暴動※」については、テロ行為はお支払いの対象となります。 テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。
家族型への変更に関する特約 (ファミリー交通傷害制度)	被保険者の範囲を、「契約概要のご説明」の「1.商品の仕組みおよび引受条件等 (1)商品の仕組み」の「被保険者(補償の対象者)の範囲」に記載のとおり変更します。

【※印の用語のご説明】

- 「医学的他覚所見のないもの」とは、被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
- 「医師」とは、被保険者以外の医師をいいます。
- 「ギブス等」とは、ギブス、ギブスシーネ、ギブスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器、その他医学上ギブスと同程度の安静を保つために用いるものをいい、バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー、厚紙副子、ニーブレース等は含まれません。)をいいます。
- 「競技等」とは、競技、競争、興行(※)または試運転をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。

試運転に訓練を含む特約(ただし、自動車等※の運転資格を取得するための訓練は含みません。)
 ・交通事故危険のみ補償特約

 (※) いずれもそのための練習を含みます。
- 「頸(けい)部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。
- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。
 「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。
 「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。
 「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。
 「傷害」とは、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸入または摂取した場合に急激に発生する中毒症状(※)を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。
 ①細菌性食中毒 ②ウイルス性食中毒
 (※)継続的に吸入、吸入または摂取した結果発生する中毒症状を除きます。
- 「ケガを被った所定の部位」とは、次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。
 ・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱
 ・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分(中手骨、中足骨およびそれらより指先側は含まれません。)。ただし、長管骨を含めギブス等※の固定具を装着した場合に限り、
 ・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギブス等の固定具を装着した場合に限り、
- 「後遺障害」とは、治療※の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※を除きます。
- 「交通事故」とは、次の事故をいいます。
 ①運行中の交通乗用具※との衝突、接触等(※)
 ②運行中の交通乗用具の衝突、接触、火災、爆発等(※)
 ③運行中の交通乗用具の正規の搭乗装置またはその装置のある室内に搭乗中の急激かつ偶然な外来の事故(異常かつ危険な方法で搭乗している場合を含みません。)
 ④乗客として交通乗用具の改札口を入ってから改札口を出るまでの間の急激かつ偶然な外来の事故
 ⑤道路通行中の、工作用自動車との衝突、接触等または工作用自動車の衝突、接触、火災、爆発等の事故(※)(ただし、作業機械としてのみ使用されている工作用自動車に限り、)

- ⑥交通乗用具の火災
 (※)立入禁止の工事現場内、建設現場内、レーシング場のサーキット内、鉄道敷地内等で、かつ、一般には開放されていない状況にある場所で発生した事故は除きます。
- 「交通乗用具」とは、電車、自動車(スノーモービルを含みます。)、原動機付自転車、自転車、航空機、ヨット、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、エレベーター等、特約に定められたものをいいます。
- 「誤嚥(えん)」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることをいいます。
- 「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
- 「支払限度日数」とは、支払対象期間※内において、支払いの限度となる日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数とします。

適用される保険金の名称 ・傷害入院保険金 ・傷害通院保険金
- 「支払対象期間」とは、支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお入院※が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。

適用される保険金の名称 ・傷害入院保険金 ・傷害通院保険金
- 「酒気帯び運転」とは、道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等※を運転することをいいます。
- 「手術」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。
 ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(※1)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。
 ②先進医療※に該当する診療行為(※2)
 (※1) ①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。
 (※2) ②の診療行為は、治療※を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限り、ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身的薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。
- 「先進医療」とは、手術※を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限り、)をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。
- 「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事象をいいます。
- 「治療」とは、医師※が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
- 「通院」とは、病院もしくは診療所に通い、または往診もしくは訪問診療により、治療※を受けることをいい、オンライン診療による診察を含みます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。なお、同月に複数回のオンライン診療を受けた場合で、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表においてオンライン診療料を1回算定された場合は、最初の1回のみ通院したものとみなします。
- 「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。
- 「入院」とは、自宅等での治療※が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師※の管理下において治療に専念することをいいます。
- 「病氣」とは、被保険者が被ったケガ※以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病氣によって被ったケガについては、病氣として取り扱います。

- この保険は一般社団法人 全国青色申告会総連合が保険契約者となる団体契約であり、保険契約者より加入をご案内しています。被保険者が保険料を負担される場合、保険契約者が保険料をとりまとめのうえ引受保険会社に払い込みます。なお、保険契約者が引受保険会社に保険料を払い込まなかった場合には、保険契約が解除され保険金が支払われないことがあります。また、保険契約者または被保険者がご加入の取消等をされた場合、引受保険会社は返還保険料を保険契約者に返還します。
- 前年度ご加入いただいた被保険者の人数および過去一定期間の保険料の合計とお支払いした保険金の合計の割合に従って割増率が適用されます。
- この保険の保険期間は1年間となります。保険金請求状況等によっては、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 保険金請求状況等とは、加入者間の公平性を逸脱する極端な保険金支払いまたはその請求があった場合、飲酒運転等の法令違反や事実を偽った保険金請求が行われた場合等をいいます。
- 引受保険会社が、普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等を改定した場合、改定日以降の日を始期日とする継続契約につきましては、その始期日における普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償等の内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、または継続加入できないことがあります。あらかじめご了承ください。

- お客さまのご加入内容が登録されることがあります。
損害保険制度が健全に運営され、死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金等のお支払いが正しく確実に行われるよう、これらの保険金のある保険契約について、一般社団法人 日本損害保険協会が運営する契約内容登録制度への登録を実施しております。
- 〈経営破綻した場合等の保険契約者の保護について〉
・引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時にお約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されたりすることがあります。
・損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。
- 【ケガの補償】
保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。
- 柔道整復師（接骨院、整骨院等）による施術の場合、通院日数の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼（はり）・灸（きゅう）・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。

重要事項のご説明

契約概要のご説明（団体総合生活補償保険（MS&AD型）【交通事故危険のみ補償特約付】）

- ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、ご所属の青色申告会を通して代理店・扱者または引受保険会社までお問合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. 商品の仕組みおよび引受条件等

(1) 商品の仕組み

この保険は、被保険者（補償の対象者）が交通事故等によりケガをされた場合（傷害補償特約等をセットした場合）等に保険金をお支払いします。被保険者の範囲によって契約プランをお選びいただくことができます。

被保険者の範囲および保険金が支払われる事故の種類は次のとおりです。

保険の種類	被保険者（補償の対象者）の範囲			保険金が支払われる事故	
	本人*1	配偶者	その他親族*2	交通事故	左記以外の事故
交通事故傷害制度 （交通事故危険のみ補償特約）	○	—	—	○	—
ファミリー交通傷害制度 （交通事故危険のみ補償特約） （家族型への変更に関する特約）	○	○	○	○	—

*1 加入申込票の加入者氏名欄記載の方（ファミリー交通傷害制度においては記名被保険者）をいいます。

*2 家族型（ファミリー交通傷害制度）の場合は次のいずれかの方をいいます。
・本人またはその配偶者と同居の、本人またはその配偶者の6親等内の血族および3親等内の姻族
・本人またはその配偶者と別居の、本人またはその配偶者の未婚の子

（注）同居・別居の別および続柄は保険金支払事由発生の際におけるものをいいます。住民票上は同居となっていて実態が別居の場合は、ここでいう同居には該当しません。

(2) 補償内容

保険金をお支払いする場合はパンフレットのとおりです。詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

①保険金をお支払いする場合（支払事由）と保険金のお支払額

パンフレットをご参照ください。

②保険金をお支払いしない主な場合（主な免責事由）

パンフレットをご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

(3) セットできる主な特約およびその概要

パンフレットをご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約に基づきます。（この保険には任意セットできる特約はありません。）

(4) 保険期間

この保険の保険期間は、1年間です。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、加入申込票の保険期間欄にてご確認ください。

(5) 引受条件

ご加入いただく保険金額につきましては、次の点にご注意ください。お客さまが実際にご加入いただく保険金額につきましては、パンフレットの保険金額欄および加入申込票、普通保険約款・特約等にてご確認ください。

- ・保険金額は被保険者（補償の対象者）の方の年齢・年収などに照らして適正な金額となるように設定してください。場合により、お引受けできない保険金額・ご加入条件等もありますのであらかじめご承知おきください。
- ・保険金額は、高額療養費制度等の公的保険制度を踏まえて設定してください。公的保険制度の概要につきましては、金融庁のホームページ（<https://www.fsa.go.jp/ordinary/insurance-portal.html>）等をご確認ください。

2. 保険料

保険料は保険金額・保険期間等によって決定されます。お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては、加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

3. 保険料の払込方法について

パンフレットをご参照ください。

4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

5. 解約返れい金の有無

ご加入の脱退（解約）に際しては、ご加入時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還します。始期日から解約日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料の払込状況により追加の保険料をご請求する場合があります。追加で請求したにもかかわらず、その払込みがない場合は、ご契約を解除することがあります。「注意喚起情報のご説明」の「7.解約と解約返れい金」をご参照ください。

注意喚起情報のご説明(団体総合生活補償保険(MS&AD型)【交通事故危険のみ補償特約付】)

- ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者(補償の対象者)が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝え下さい。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、ご所属の青色申告会を通して代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
- 契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. クーリングオフ説明書(ご契約のお申込みの撤回等)

この保険は一般社団法人 全国青色申告会総連合が保険契約者となる団体契約であることからクーリングオフの対象となりません。

2. 告知義務等

(1) 告知義務(ご加入時にお申出いただく事項)

- 被保険者(補償の対象者)には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。
- 告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「※」印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

【告知事項】

- 他の保険契約等(*)に関する情報
- (*)同種の危険を補償する他の保険契約等で、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

(2) その他の注意事項

- 同種の危険を補償する他の保険契約等(*)で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求履歴欄にその内容を必ず記入してください。
- (*)同種の危険を補償する他の保険契約等(*)とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約等を含みます。
- 保険金受取人について

保険金受取人	傷害死亡保険金	・ 傷害死亡保険金は、特に傷害死亡保険金受取人を定めなかった場合には、被保険者の法定相続人にお支払いします。 (注) 傷害死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に定める場合、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。なおこの場合、保険契約者と被保険者が異なるご契約を被保険者の同意のないままにご契約されていたときは、保険契約が無効となります。また、ご契約後に傷害死亡保険金受取人を変更する場合も、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。
	上記以外	・ 普通保険約款・特約に定めております。

- ご加入後、申込人の住所などを変更される場合は、ご契約内容の変更等が必要となります。ただちに代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。
- 被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、被保険者は保険契約者によるこの保険契約(*)の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約(*)を解約しなければなりません。
- ①この保険契約(*)の被保険者となることについて、同意していなかったとき
- ②保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があったとき
 - ・ 引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を発生させ、または発生させようとしたこと。
 - ・ 保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当するとき
- ④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤②～④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、この保険契約(*)の存続を困難とする重大な事由を発生させたとき
- ⑥保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、この保険契約(*)の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があったとき

また、①の場合は、被保険者が引受保険会社へ解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。

(注) 家族型(ファミリー交通傷害制度)においては、被保険者ご本人から解約請求があった場合、または被保険者ご本人による引受保険会社への解約請求があった場合には、保険契約者は次のa.またはb.いずれかのことを行わなければなりません。

ただし、この保険契約において、その被保険者ご本人が傷害後遺障害保険金の支払いを受けていた場合にはb.によるものとします。

- a. 家族のうち新たに本人となる方の同意を得て、本人をその方に変更すること。
- b. この保険契約(*)を解約すること。

(*) 保険契約

その被保険者に係る部分に限ります。

3. 補償の開始時期

始期日の午後4時に補償を開始します。保険料は、パンフレット記載の方法により払込みください。パンフレット記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

4. 保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)等

(1) 保険金をお支払いしない主な場合

パンフレットをご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されておりますのでご確認ください。

(2) 重大事由による解除

次のことがある場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

- ① 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を発生させ、または発生させようとしたこと。
- ② 被保険者または保険金を受け取るべき方が、保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③ 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたこと。
- ④ 他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤ 上記のほか、①～④と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由を発生させたこと。

5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

保険料は、パンフレット記載の方法により払込みください。パンフレット記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除させていただくことがあります。

6. 失効について

ご加入後に、被保険者(家族型(ファミリー交通傷害制度))においては被保険者全員が死亡された場合には、この保険契約は失効となります。なお、傷害死亡保険金をお支払いする場合に該当しない事由の死亡による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。

7. 解約と解約返れい金

ご加入を途中で脱退(解約)される場合は、ご加入の代理店・扱者または引受保険会社までお申出ください。

- ・ 脱退(解約)日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。
- ・ 始期日から脱退(解約)日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただくことがあります。



8. 保険会社破綻時等の取扱い

パンフレットをご参照ください。

9. 個人情報の取扱いについて

パンフレットをご参照ください。

この保険商品に関するお問い合わせは

【代理店・扱者】表紙の代理店・扱者欄をご確認ください。

三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」
0120-632-277 (無料)
「チャットサポートなどの各種サービス」
こちらからアクセスできます。



<https://www.ms-ins.com/contact/cc/>

指定紛争解決機関

引受保険会社は保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター [ナビダイヤル(全国共通・通話料有料)] 0570-022-808

- ・ 受付時間[平日 9:15~17:00 (土日・祝日および年末年始を除きます)]
- ・ 携帯電話からも利用できます。IP電話からは03-4332-5241におかけください。
- ・ おかけ間違いにご注意ください。
- ・ 詳細は、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。
<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html>

万一、事故が起こった場合は

ご所属の青色申告会を通して遅滞なく代理店・扱者または下記にご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス
「三井住友海上事故受付センター」
事故は いち早く
0120-258-189(無料)

事故は いち早く